

令和3年度第2回大阪府企業立地促進補助金審査会（府施策との整合性審査） 概要

日時	令和3年12月13日（月）13時30分から16時00分まで		
場所	大阪府咲洲庁舎25階会議室（大阪府が指定するWeb会議室）		
案件	3件		
審査委員 （敬称略）	京都大学 大学院工学研究科 化学工学専攻 教授	河瀬 元明（会長）	
	左川中小企業診断士事務所 中小企業診断士	左川 睦子	
	追手門学院大学 地域創造学部 地域創造学科 准教授	藤原 直樹	
	武庫川女子大学 経営学部 経営学科 専任講師	山下 紗矢佳	

【審査項目（6項目）】

- 1 立地する事業所で実施する事業内容
 - （1）雇用の拡充
 - （2）生産性・効率性の向上度
- 2 立地する事業所の機能・役割
- 3 立地企業の経営基盤等
 - （1）経営基盤
 - （2）経営改善や人材育成等の取り組み状況
 - （3）事業実績

【1】株式会社リプロによる事業計画に係る府施策との整合性審査

- （1）事業概要
 - 廃プラスチック製品製造業の工場の立地
 - 立地場所／敷地面積／延べ面積 堺市西区築港新町／4,050.60 m²／1,489.10 m²
 - 補助対象経費／補助金額 約 7.3 億円／3,000 万円
- （2）補助金の種別 …… 府内投資促進補助金（産業集積促進地域における工場等）
- （3）審査結果：補助事業者として適当であると認定
 - 審査方法
 - ・各委員が審査項目（6項目）を5段階評価（5点満点）し、平均評価点が7割以上を満たすこと
 - 審査結果
 - ・各委員が評価した結果、評価点の平均が **21.5点（30点中）** であり、平均評価点が7割以上となった
 - 委員の主な所見
 - ・廃プラスチックのマテリアルリサイクルはこれから重要性が増す技術であり、事業として成立させられる計画は将来性がある。
 - ・従来培ってきた廃プラスチックのマテリアルリサイクルの技術・ノウハウを活用できる新事業である。
 - ・新工場稼働後は、管理体制強化や従業員の働く環境改善にしっかりと取り組まれない。また、ペレット平均売価の向上が計画倒れにならないように、原材料の購入先、製品（ペレット）の販売先を確実に確保し、事業計画達成に取り組んでほしい。
 - ・マテリアルリサイクルという社会的に重要な取り組みを実施する点は評価できる。人材雇用や育成、地域貢献についても取り組みを進めてほしい。

【2】畑鉄工株式会社による事業計画に係る府施策との整合性審査

(1) 事業概要

- 伸銅品製造業の工場の立地
- 立地場所／敷地面積／延べ面積 東大阪市高井田／**1,816.61 m²／2,170.00 m²**
- 補助対象経費／補助金額 約 **5.4 億円／3,000 万円**

(2) 補助金の種別 …… 府内投資促進補助金（産業集積促進地域における工場等）

(3) 審査結果：補助事業者として適当であると認定

○審査方法

- ・各委員が審査項目(6項目)を5段階評価(5点満点)し、平均評価点が7割以上を満たすこと

○審査結果

- ・各委員が評価した結果、評価点の平均が **24. 25点(30点中)**であり、平均評価点が7割以上となった

○委員の主な所見

- ・健全経営のなかで風力発電のサプライヤーとして将来性が見込まれる。より広い本社工場を新設することで新規設備導入により生産性が向上するだけでなく、スタイリッシュな建物は美観向上や雇用確保にも貢献する。
- ・堅実な経営で拡大してきた事業をさらに進展させるために生産設備の効率化を行う計画で、新規需要の見込める産業動向の情報を的確に捉えている。
- ・市場で洋上風力発電の比率を高めるには発電コスト低下も必要であるため、低コスト化を求められると考えられるが、しっかりと生産体制を整え、利益確保できる体制を構築して欲しい。
- ・既存中小製造業の革新的行動を後押しするにあたり模範的なケースと思われる。工場の新設は中小製造業のイメージ刷新だけではなく、社内の仕組(働き方改革含め)を抜本的に見直せる機会なので、ぜひとも様々な点で積極的な取組を検討してほしい。

【3】ヤマウチ株式会社による事業計画に係る府施策との整合性審査

(1) 事業概要

- その他ゴム製品製造業の工場の立地
- 立地場所／敷地面積／延べ面積 枚方市招提田近／**17,030.23 m²／5,042.02 m²**
- 補助対象経費／補助金額 約 **5.3 億円／3,000 万円**

(2) 補助金の種別 …… 府内投資促進補助金（産業集積促進地域における工場等）

(3) 審査結果：補助事業者として適当であると認定

○審査方法

- ・各委員が審査項目(6項目)を5段階評価(5点満点)し、平均評価点が7割以上を満たすこと

○審査結果

- ・各委員が評価した結果、評価点の平均が **24. 5点(30点中)**であり、平均評価点が7割以上となった

○委員の主な所見

- ・医療検査機器用の樹脂製消耗品の製造など、今後も確実な需要を見込める製品を生産する企業であり、事業の継続性が期待できる。労働条件の改善への取り組みも評価できる。
- ・今回の申請では、医療という成長分野に取り組んでおり、今後の継続的な需要は期待できる。医療用は特に品質が重要視されるため、樹脂加工の技術力を蓄積し、製造のトレーサビリティと合わせて品質向上にしっかりと取り組んで欲しい。
- ・付加価値の高い医療分野への展開、自動化の推進、事業継続力強化計画認定取得など、積極的な経営姿勢が見受けられる内容であった。
- ・社内設備の地理的再配置や新規資本投資に関連した効率化などの視点も検討されたい。